

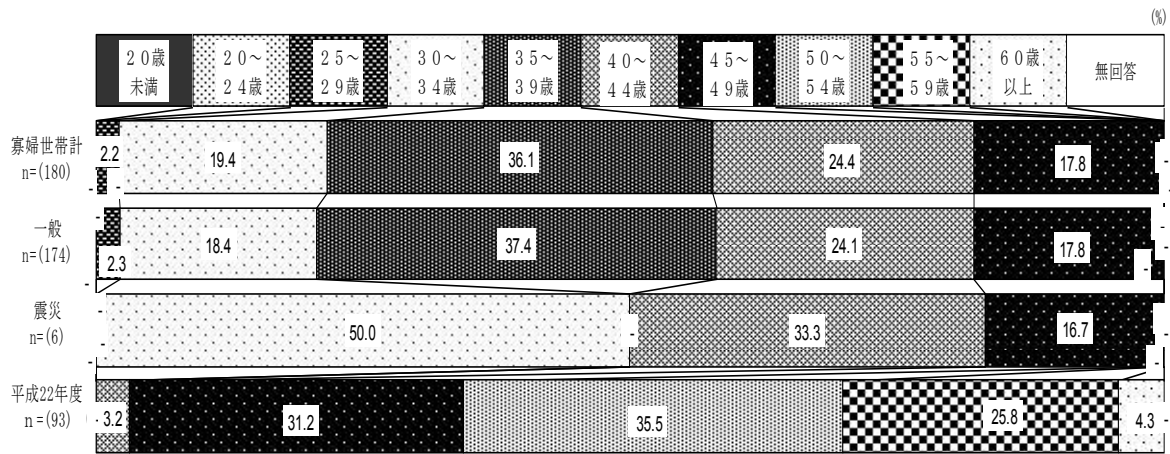
V. 調査結果 寡婦世帯

(1) 本人および世帯の状況について

①年齢

質問1 あなたの現在（平成25年9月1日現在）の年齢は何歳ですか。

[該当する番号1つに○をつけてください。]



		n	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60歳以上	無回答
平成25年度	寡婦世帯計	(180)	-	-	2.2	19.4	36.1	24.4	17.8	-	-	-	-
	一般	(174)	-	-	2.3	18.4	37.4	24.1	17.8	-	-	-	-
	震災	(6)	-	-	-	50.0	-	33.3	16.7	-	-	-	-
平成22年度	寡婦世帯計	(93)	-	-	-	-	-	3.2	31.2	35.5	25.8	4.3	-

■:上位1位 ■:上位2位 ■:上位3位の年代

現在の年齢については、寡婦世帯計・一般寡婦世帯では「35～39歳」（30%強）が、震災寡婦世帯では「30～34歳」（50.0%）が高く、次いで、いずれも「40～44歳」（24.1～33.3%）となっている。

一般寡婦世帯と震災寡婦世帯を比較すると、「震災世帯」は「30～34歳」が高く31.6%の差がみられる。

平成22年度の調査と比較すると震災の影響か年齢が若い年代が増加傾向にある。

V. 調査結果 寡婦世帯

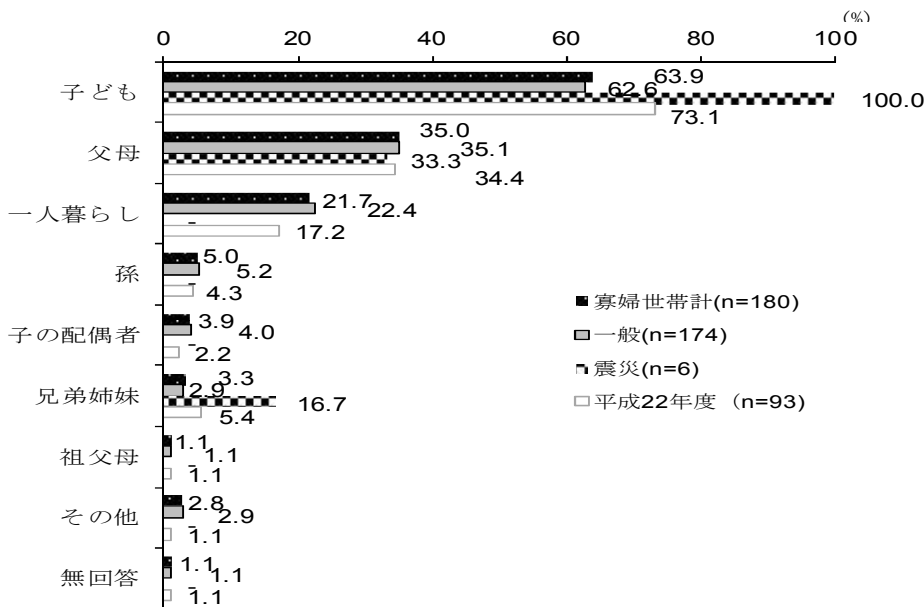
②同居している家族

質問2 現在同居している家族は何人ですか。

[該当する番号すべてに○をつけ、それぞれ人数を()に記入してください。]

		(%)						
調査数		0人 (一人暮らし)	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
平成25年度	寡婦世帯計 (180)	39 21.7	59 32.8	41 22.8	25 13.9	8 4.4	6 3.3	2 1.1
	一般 (174)	39 22.4	58 33.3	38 21.8	23 13.2	8 4.6	6 3.4	2 1.1
	震災 (6)	-	1 16.7	3 50.0	2 33.3	-	-	-
平成22年度	寡婦世帯計 (93)	17 18.3	27 29.0	24 25.8	15 16.1	7 7.5	2 2.2	1 1.1

(上段：件数、下段：%)



※家族構成内訳 (複数回答)

		(人)								
		合計	父母	祖父母	子ども	兄弟姉妹	孫	子の配偶者	一人暮らし	その他
平成25年度	寡婦世帯計	246	63	2	115	6	9	7	39	5
	一般	237	61	2	109	5	9	7	39	5
	震災	9	2	-	6	1	-	-	-	-
平成22年度	寡婦世帯計	129	32	1	68	5	4	2	16	1

同居している家族人数については、全体では「1人」(32.8%)が最も多く、次いで「2人」(22.8%)、「0人(一人暮らし)」(21.7%)の順となっている。「一般」、「震災」別では、「2人」「3人」の割合が「震災世帯」は多い。

家族構成については、「子ども」(63.9%)が最も多く、次いで、「父母」(35.0%)、「一人暮らし」(21.7%)「孫」(5.0%)となっている。「一般」、「震災」別では、「子ども」「兄弟姉妹」の割合が「震災世帯」で高い。

前回調査との比較では、「子ども」が約10%減少し「一人暮らし」が微増している。

③寡婦世帯となった理由

質問3 配偶者がいないのはどのような理由からですか。

[該当する番号1つに○をつけてください。]

(%)

		n=	病死	災害、 事故死	その他 死亡	離婚	未婚の母	遺棄	配偶者の 心身障害	家出、 行方不明	その他	無回答
平成25年度	寡婦世帯計	(180)	18.3	5.6	2.2	71.1	1.7	-	-	-	-	1.1
	一般	(174)	19.0	2.3	2.3	73.6	1.7	-	-	-	-	1.1
	震災	(6)	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
平成22年度	寡婦世帯計	(93)	14.0	-	-	81.7	2.2	-	-	-	-	2.2

■:上位1位 ■:上位2位 □:上位3位の理由

寡婦世帯となった理由については、「離婚」(71.1%)が最も多く、次いで、「病死」(18.3%)、「災害、事故死」(5.0%)となっている。「一般」、「震災」別では、「一般世帯」は様々な理由があるのに比べ、「震災世帯」は対象6世帯中6世帯が「災害、事故死」であった。

④寡婦世帯になってからの年数

質問4 配偶者がいなくなってから現在までの年数は何年ですか。

[該当する番号1つに○をつけてください。]

(%)

		n=	2年未満	2~5年 未満	5~8年 未満	8~11年 未満	11~15 年未満	15~18 年未満	18~20 年未満	20年以上	無回答
平成25年度	寡婦世帯計	(180)	0.6	4.4	8.9	7.8	18.9	13.9	15.0	29.4	1.1
	一般	(174)	0.6	1.1	9.2	8.0	19.5	14.4	15.5	30.5	1.1
	震災	(6)	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
平成22年度	寡婦世帯計	(93)	-	4.3	11.8	8.6	20.4	14.0	12.9	25.8	2.2

■:上位1位 ■:上位2位 □:上位3位の年数

寡婦世帯になってからの年数については、「20年以上」が29.4%で最も多く、以下、「11~15年未満」(18.9%)、「18~20年未満」(15.0%)、「15~18年未満」(13.9%)、「5~8年未満」(8.9%)となっている。

前回調査と比較しても、同様の年数となっている。

(2) 就労・経済の状況について

① 勤労形態

質問5 あなたの勤労形態は何ですか。

[該当する番号1つに○をつけてください。]

			(%)							
			自営業	常時 雇用者	臨時雇用 者(パー トを含 む)	内職	家事 手伝い	その他	無職	無回答
平成25年度	寡婦世帯計	(180)	7.2	37.2	31.7	1.1	-	4.4	17.8	0.6
	一般	(174)	6.9	37.9	32.2	1.1	-	4.6	16.7	0.6
	震災	(6)	16.7	16.7	16.7	-	-	-	50.0	-
平成22年度	寡婦世帯計	(93)	6.5	48.4	35.5	-	2.2	-	6.5	1.1

■:上位1位 ▨:上位2位 ▩:上位3位の勤労形態

勤労形態については、全体で「常時雇用者」が37.2%で最も多く、次いで「臨時雇用者（パートを含む）」が31.7%、「無職」17.8%の順となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」の「無職」の割合が「一般世帯」より33.3%高く、逆に「常時雇用者」の割合が少ない。

②仕事内容

【質問6、7は、質問5で1～6（「7. 無職」を除く）とお答えの方にかがいます。】

質問6 あなたの現在の仕事の内容は何ですか。

[該当する番号1つに○をつけてください。]

(%)

		専 門 的 職 業 （ 医 師 ・ 保 育 士 ・ 教 員 な ど 資 格 を 有 す る も の ）	管 理 的 職 業 （ 会 社 や 団 体 の 役 員 な ど ）	事 務 （ 一 般 事 務 の ほ か 、 外 勤 事 務 を 含 む ）	販 売 （ 商 品 の 販 売 、 店 員 、 セ ー ル ス な ど ）	運 輸 ・ 通 信 （ 職 業 運 転 士 ・ 同 助 者 、 荷 役 な ど 運 輸 従 事 者 、 通 信 従 事 者 ）	農 業 、 林 業 、 漁 業	技 能 職 （ 製 造 、 加 工 、 組 立 、 建 設 、 修 理 な ど の 従 事 者 ）	サ ー ビ ス 業 （ 飲 食 店 、 理 容 ・ 美 容 店 な ど 接 客 や サ ー ビ ス 業 従 事 者 ）	そ の 他	無 回 答	
平成25年度	寡婦世帯計	(147)	12.9	2.0	19.7	12.9	-	16.3	15.0	19.0	2.0	
	一般	(144)	13.2	2.1	19.4	13.2	-	16.7	14.6	18.8	2.1	
	震災	(3)	-	-	33.3	-	-	-	33.3	33.3	-	
平成22年度	寡婦世帯計	(86)	15.1	-	12.8	15.1	2.3	1.2	26.7	15.1	4.7	7.0

■:上位1位 ▨:上位2位 ▨:上位3位の仕事内容

仕事の内容については、全体で「事務（一般事務のほか、外勤事務を含む）」が 19.7%と最も多く、次いで「その他」（19.0%）、「技能職（製造、加工、組立、建設、修理などの従事者）」（16.3%）、「サービス業（飲食店、理容・美容店など接客やサービス業従事者）」（15.0%）の順となっている。

前回調査と比べて、「事務（一般事務のほか、外勤事務を含む）」が増加し、「技能職（製造、加工、組立、建設、修理などの従事者）」が減少した。

V. 調査結果 寡婦世帯

③仕事を探した方法

質問7 あなたは、今の仕事をどのような方法で探しましたか。

[該当する番号1つに○をつけてください。]

		n=	公共職業安定所 (ハローワーク) の紹介	ひとり親 家庭支援 員などの 紹介	知人・友 人などの 紹介	家族や親 族の紹介	学校から の紹介	企業の募 集広告	新聞・チラ シ、雑誌な どの求人広 告	探す必要 はなかつ た	その他	無回答
平成25年度	寡婦世帯計	(147)	32.7	-	21.1	4.1	4.1	9.5	12.2	7.5	6.8	2.0
	一般	(144)	33.3	-	21.5	3.5	4.2	9.7	12.5	6.9	6.9	1.4
	震災	(3)	-	-	-	33.3	-	-	-	33.3	-	33.3
平成22年度	寡婦世帯計	(86)	30.2	-	20.9	9.3	3.5	8.1	12.8	5.8	7.0	2.3

■:上位1位 ■■■:上位2位 :::::上位3位の仕事の探し方

仕事を探した方法については、「公共職業安定所（ハローワーク）の紹介」（32.7%）が最も多く、次いで「知人・友人などの紹介」（21.1%）、「新聞・チラシ、雑誌などの求人広告」（12.2%）の順となっている。「一般」、「震災」別では、「家族や親族の紹介」「探す必要はなかった」が「一般世帯」より多い。

④仕事に就かない理由

【質問8は、質問5で「7. 無職」とお答えの方に向かっています。】

質問8 あなたが仕事に就かない（就けない）主な理由は何ですか。

[該当する番号1つに○をつけてください。]

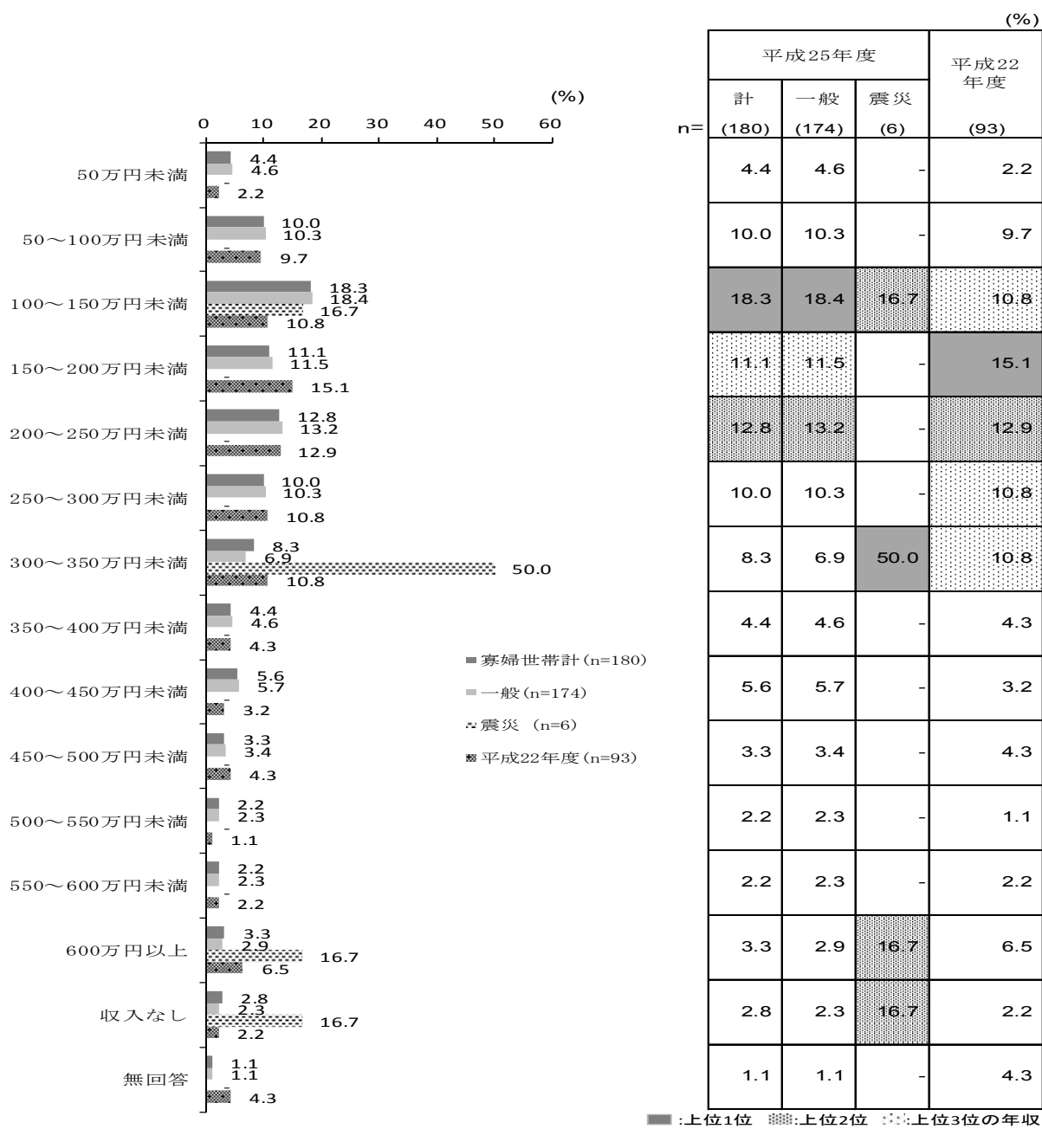
		n=	自分が 病弱	子どもの 世話、病 気	他の家 族の世 話や介 護	適職が ない、勤 務条件 が合わ ない	働く必 要が ない	高齢の ため	就職の ための 技能、 技術 習得中	その他	就職は 考 えて いない	無回答
平成25年度	寡婦世帯計	(32)	25.0	6.3	21.9	15.6	3.1	9.4	-	15.6	3.1	-
	一般	(29)	24.1	6.9	24.1	17.2	-	10.3	-	13.8	3.4	-
	震災	(3)	33.3	-	-	-	33.3	-	-	33.3	-	-
平成22年度	寡婦世帯計	(6)	50.0	16.7	16.7	16.7	-	-	-	-	-	-

■:上位1位 ■■■:上位2位 :::::上位3位の仕事に就かない理由

仕事に就かない理由については、全体では、「自分が病弱」（25.0%）が最も多く、次いで「他の家族の世話や介護」（21.9%）、「適職がない、勤務条件が合わない」「その他」（15.6%）の順となっている。前回調査比較では、前回「自分が病弱」が1位だったが、今回は理由が多様なのが印象的である。

⑤年間収入

質問9 あなたの世帯の平成24年の年間収入（税金等控除前）はどの位ですか（ボーナス、児童扶養手当、年金、養育費、仕送り等臨時収入を含む全世帯員の合計額）。
 [該当する番号1つに○をつけてください。]



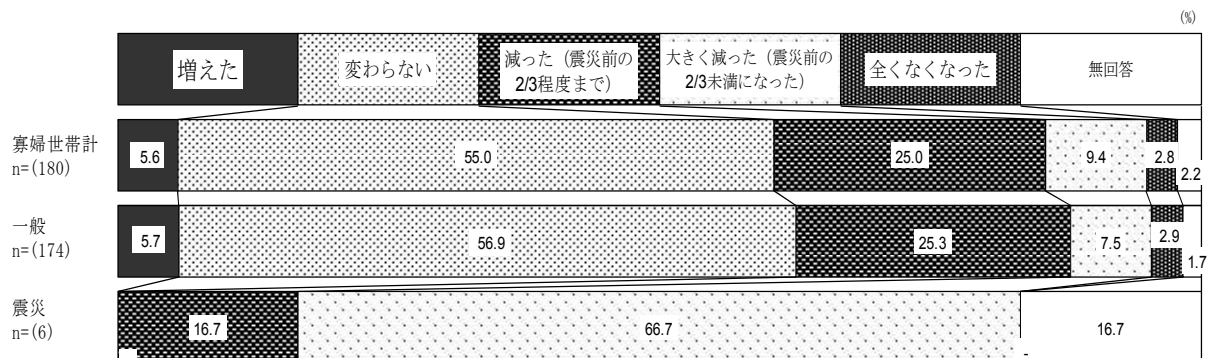
年間収入については、全体では、「100～150万円未満」（18.3%）が最も多く、次いで、「200～250万円未満」（12.8%）、「150～200万円未満」（11.1%）、「50～100万円未満」「250～300万円未満」共に（10.0%）の順となっている。前回と比較して、全体的に収入がやや減少しているのが伺える。

V. 調査結果 寡婦世帯

⑥東日本大震災後の世帯の年間収入の変化

質問 10 東日本大震災後、世帯の年間収入は変化がありましたか。

[該当する番号 1 つに○をつけてください。]



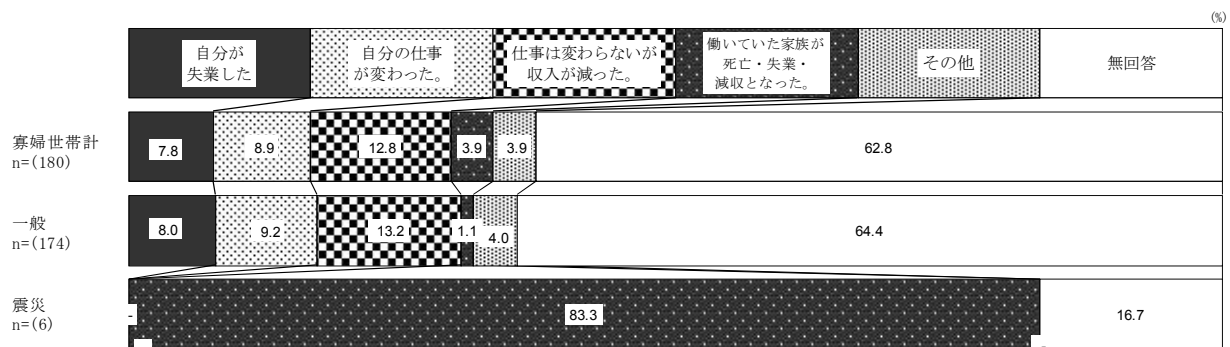
東日本大震災後の世帯の年間収入の変化については、全体では、「変わらない」が 55.0%と最も多く、次いで「減った(震災前の 2/3 程度まで)」(25.0%)、「大きく減った(震災前の 2/3 未満になった)」(9.4%)の順となっている。「一般」、「震災」別では「震災世帯」では「大きく減った(震災前の 2/3 未満になった)」が 66.7% 「一般世帯」を大きく上回っている。

⑦世帯収入が減った理由

【質問 11 は、質問 10 で「3. 減った、5. 全くなかった」とお答えの方のうちがいます。】

質問 11 世帯収入が減った(全くなかった)主な理由は何ですか。

[該当する番号 1 つに○をつけてください。]



世帯収入が減った理由は、全体では、「仕事は変わらないが収入が減った」(12.8%) が最も多く、次いで「自分の仕事が変わった」(8.9%)、「自分が失業した」(7.8%)の順となっている。「一般」、「震災」別では「震災世帯」では「働いていた家族が死亡・失業・減収となった」が 8 割を超えている。

⑧東日本大震災前の住居状況

質問 12 東日本大震災前の住居の状況は何ですか。

[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

(%)

		n=	持ち家 (分譲マンションを含む)	父母等の 家に同居	借家(民間の借家・アパート・賃貸マンション)	公営・公社・公団の賃貸住宅	間借り	会社の社宅等	母子生活支援施設	その他	無回答
平成25年度	寡婦世帯計	(180)	40.6	17.2	21.1	17.8	-	-	-	2.8	0.6
	一般	(174)	39.1	17.8	21.3	18.4	-	-	-	2.9	0.6
	震災	(6)	83.3	-	16.7	-	-	-	-	-	-
平成22年度	寡婦世帯計	(93)	20.4	22.6	25.8	25.8	2.2	-	-	1.1	2.2

■:上位1位 ▨:上位2位 ▤:上位3位の住居形態

東日本大震災前の住居の状況は、「持ち家（分譲マンションを含む）」（40.6%）が最も多く、ついで、「借家（民間の借家・アパート・賃貸マンション）」（21.1%）、「公営・公社・公団の賃貸住宅」（17.8%）となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」の「持ち家（分譲マンションを含む）」は8割を超えていた。

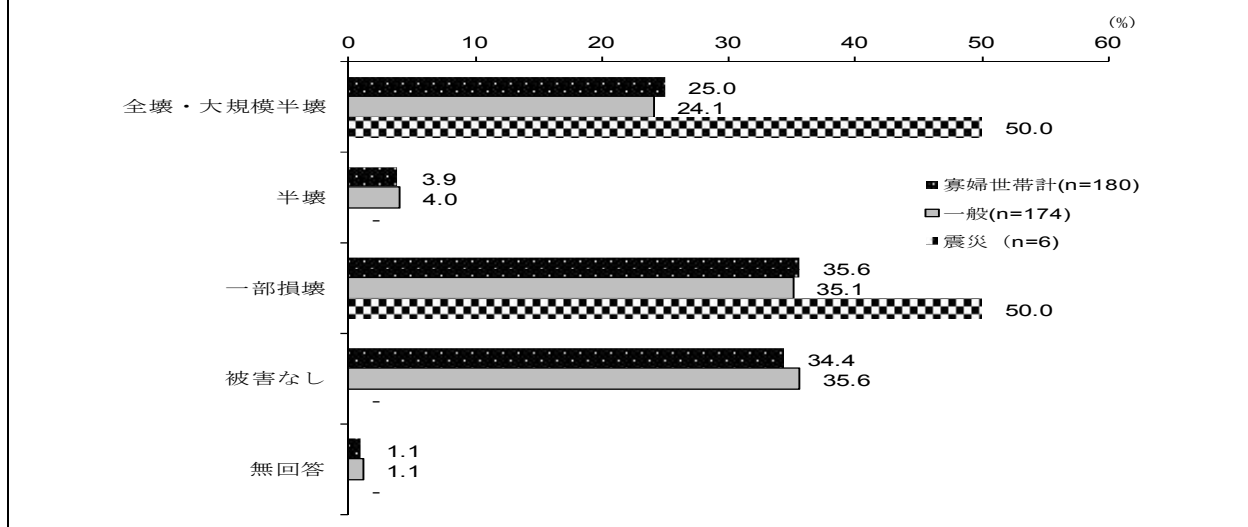
前回調査（あなたの住居の状況は何ですか。）と比較すると、今回調査は「持ち家（分譲マンションを含む）」が多く、前回は「借家（民間の借家・アパート・賃貸マンション）」と「公営・公社・公団の賃貸住宅」が1位、この数年で居住状況の違いが伺える。

V. 調査結果 寡婦世帯

⑨東日本大震災による住居の被害状況

質問 13 東日本大震災前の住居は、被害がありましたか。

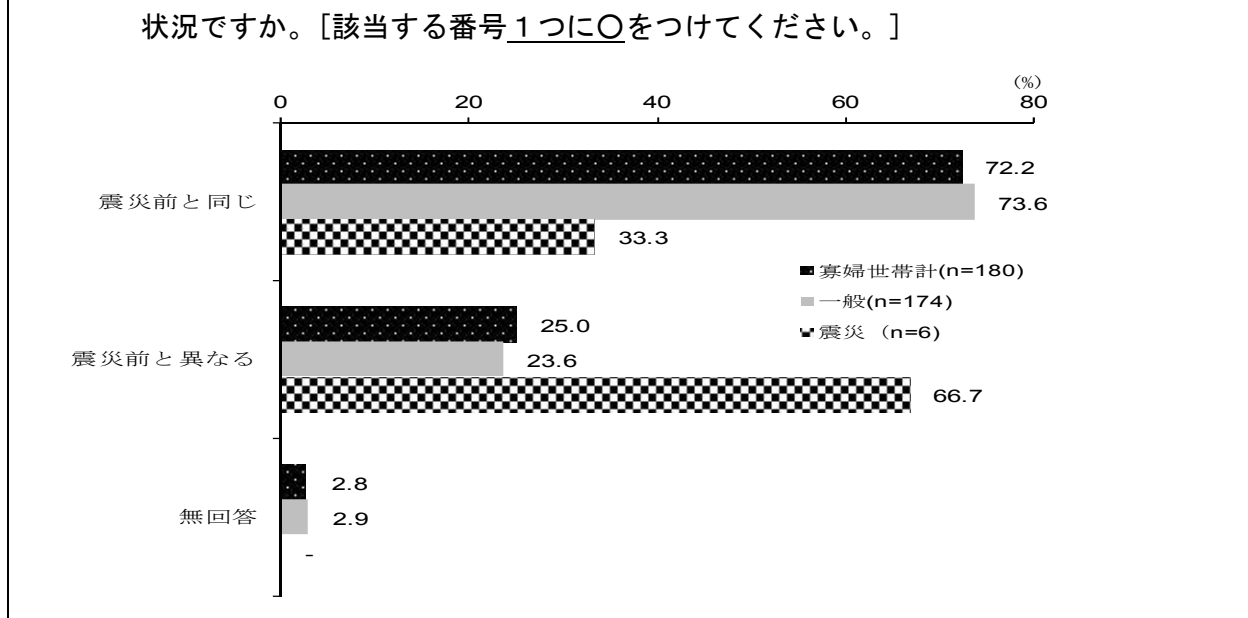
[該当する番号1つに○をつけてください。]



東日本大震災による住居の被害状況は全体では「一部損壊」が35.6%と最も多く、以下、「被害なし」(34.4%)、「全壊・大規模半壊」(25.0%)の順となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」は「全壊・大規模半壊」もしくは「一部損壊」との回答で被害の大きさが伺える。

⑩東日本大震災前後の住居の変化

質問 14 現在の住居は、東日本大震災の前と後では異なりますか。異なる場合はどのような状況ですか。[該当する番号1つに○をつけてください。]



東日本大震災前後の住居の変化では、全体では「震災前と同じ」が72.2%、「震災前と異なる」が25.0%と全体の1/4に住居の変更があった。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」の7割強が「震災前と異なる」としている。

⑪東日本大震災後の住居状況

質問 15 あなたの東日本大震災後の住居の状況は何ですか。

[該当する番号1つに○をつけてください。]

(%)

		n=	持ち家を 再建・購 入した	仮設住 宅・みな し仮設住 宅	災害公営 住宅	父母や親 族等の家 に同居	借家(民 間の借 家・ア パート・ 賃貸マン ション)	公営・公 社・公団 の賃貸住 宅	間借り	会社の 社宅等	母子生活 支援施設	その他	無回答
平成25年度	寡婦世帯計	(45)	26.7	48.9	-	4.4	13.3	2.2	2.2	-	-	2.2	-
	一般	(41)	24.4	48.8	-	4.9	14.6	2.4	2.4	-	-	2.4	-
	震災	(4)	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-

■:上位1位 ■■■:上位2位 :::::上位3位の住居形態

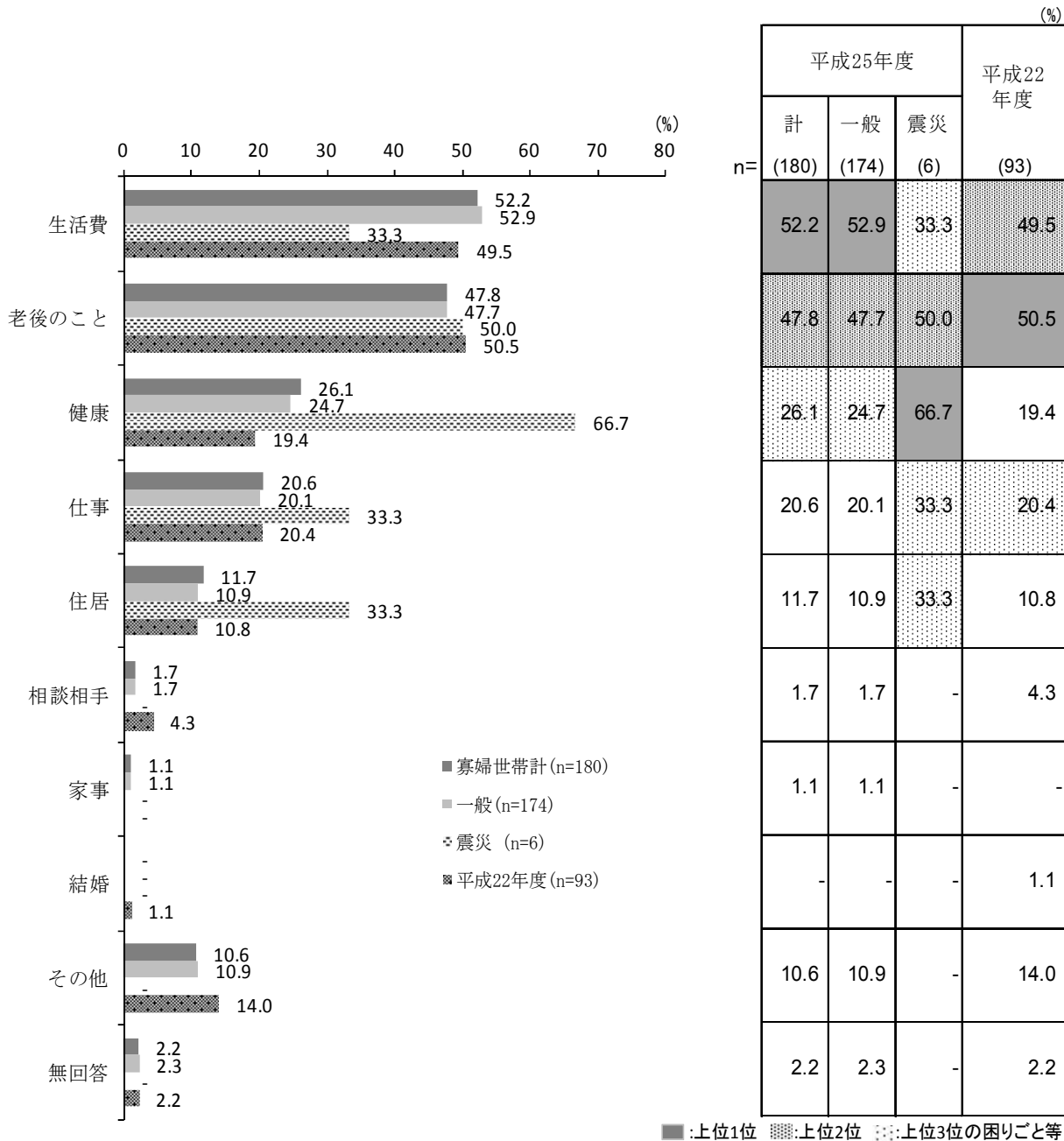
東日本大震災前と現在で住居が異なる人に現在の住居を尋ねたところ、全体では「仮設住宅・みなし仮設住宅」が 48.9%と最も多く、次いで「持ち家を再建・購入した」26.7%、「借家（民間の借家・アパート・賃貸マンション）」13.3%、「父母や親族等の家に同居」4.4%の順となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」は「持ち家を再建・購入した」と「仮設住宅・みなし仮設住宅」の2つの回答で「持ち家を再建・購入した」が「一般世帯」の2倍である。

(3) 困りごとの状況

①現在困っていること

質問 16 現在子どもさんのことで困っていること悩んでいることは何ですか。

[該当する番号2つ以内に○をつけてください。]

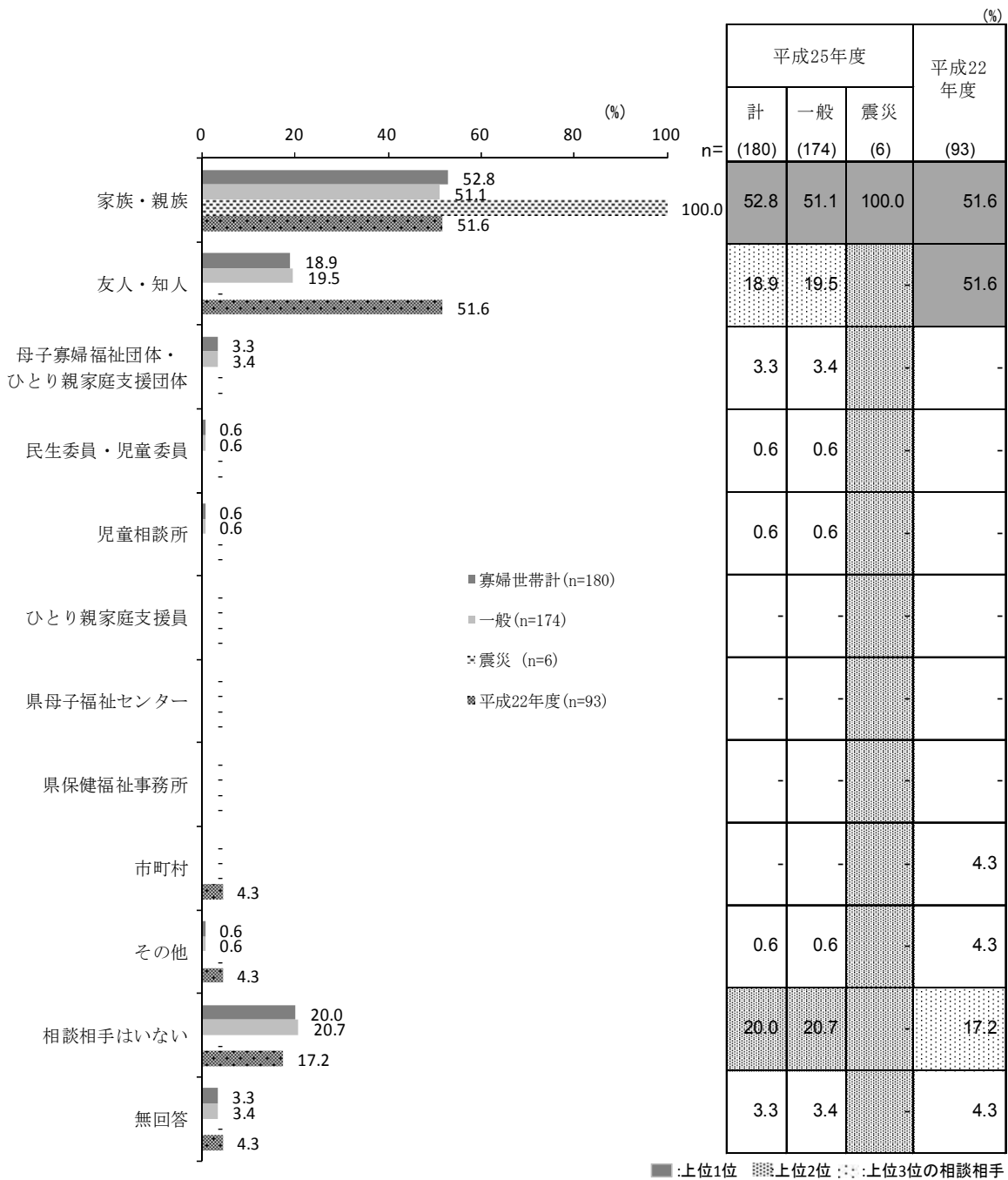


現在困っていることについては、全体では「生活費」が52.2%で最も多く、以下、「老後のこと」(47.8%)「健康」(26.1%)、となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」は「健康」が66.7%と最も高く、次いで「老後のこと」(50.0%)で、特に「健康」が「一般世帯」を大きく上回っている。

②相談相手

質問 17 心配ごと等の相談は誰（どこ）にしていますか。

[該当する番号2つ以内に○をつけてください。]



心配ごと等の相談相手については、全体では「家族・親族」(52.8%)、次いで「相談相手はいない」(20.0%)、「友人・知人」(18.9%)の順となっている。

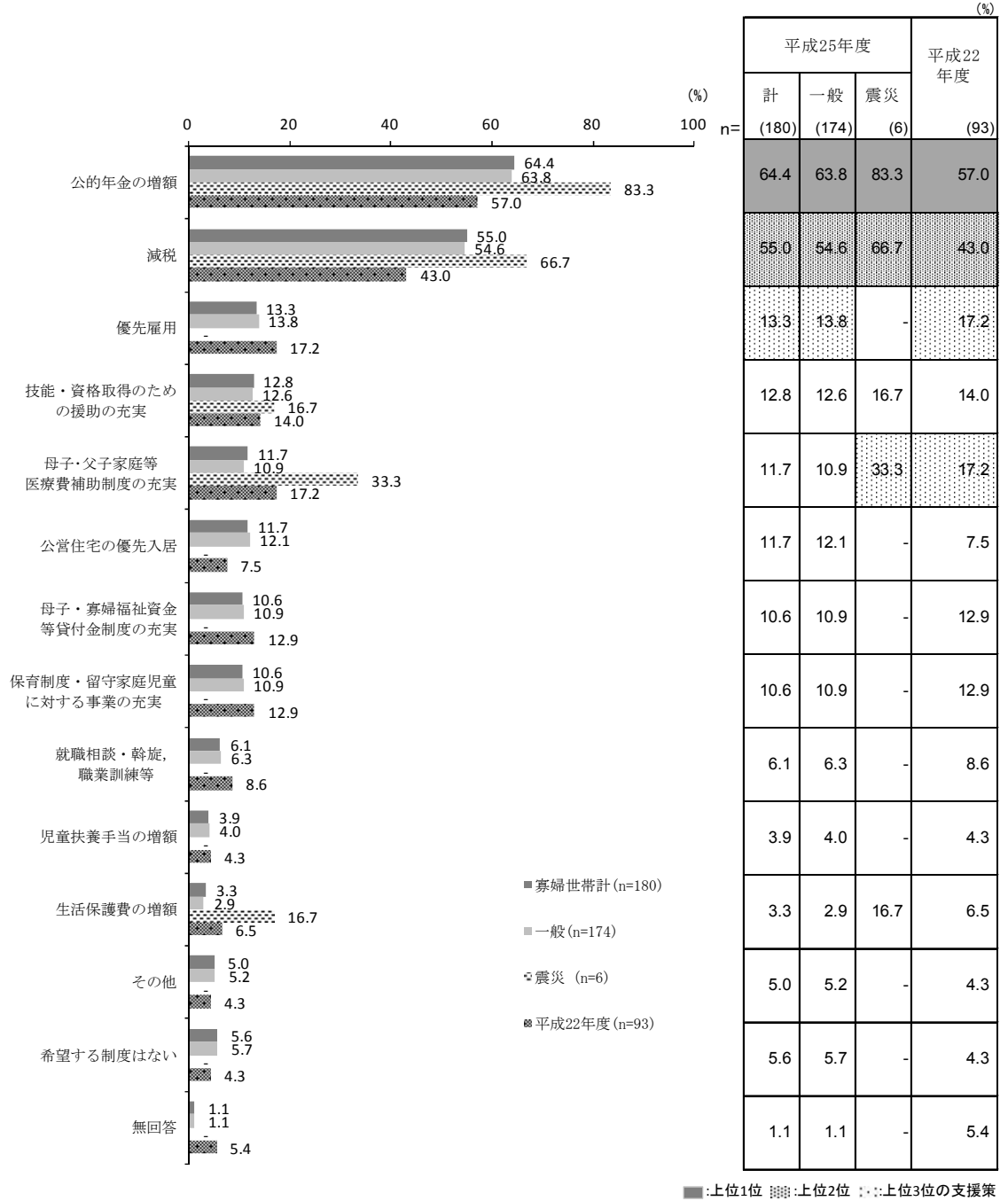
前回調査と比べて、「友人・知人」が減少し、「相談相手はいない」が若干増えている。

(4) 福祉制度の利用状況

①希望する福祉制度

質問 18 あなたが希望する福祉制度は何ですか。

[該当する番号3つ以内に○をつけてください。]



希望する福祉制度については、全体では、「公的年金の増額」(64.4%)が最も多く、次いで「減税」(55.0%)「優先雇用」(13.3%)、「技能・資格取得のための援助の充実」(12.8%)の順となっている。